

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会
時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
交通部会長 松 本 治 男
専 務 理 事 清 原 淳 平

交通部会のお知らせ(第244回)

日 時 平成28年11月29日(火) 午後1時半～3時半
場 所 衆議院第一議員会館 地下1階 第6会議室
千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車2分、
永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、
午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。そ
の時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにて
お待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第6会議
室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議 題
- 1、最近の交通事故情勢について想う
挨拶 松本治男部会長(警察庁元近畿管区警察局長)
 - 2、75歳以上の高齢運転者に係る交通事故の現状について
 - 3、携帯電話等の使用等に係る交通事故発生状況について
 - 4、交通事故統計(10月中及び11月28日まで)
解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報 告

去る10月26日開催の第243回交通部会は、松本治男警察庁元近畿管区警察局長が議長を務め行われました。

まず、松本議長より、「最近の交通事故情勢について想う」と題して開会挨拶がありました。信号のない交差点で一時停止しない車両が多く、問題になっている。欧米では信号がなくても一時停止が一般化しており、交通強者の車両が弱者の歩行者をいたわる文化があるが、日本では遵守できていない。自転車の交通違反の中で、歩行者の邪魔をするケースがある。現状で最良の対策は、交通ルールを守らない者には制裁を科すほかない。

次に、警察庁交通局交通企画課落合大地課長補佐（警視）より、「秋の全国交通安全運動期間中の交通事故発生状況」について解説がありました。秋の全国交通安全運動は、９月２１日～３０日の１０日間行われ、期間中の死者数は１０３人と前年比１７人の減、秋の運動期間中としては最少を記録した。重点目標の薄暮時間帯の死者数は９人で１人減、シートベルト着用、非着用併せ１６人で８人減、飲酒事故も３５件減少した。

次に、「自転車運転者講習制度施行１年の実施状況」について解説がありました。自転車運転者講習制度施行の平成２７年６月から１年間で、危険行為の登録件数は１５１３１件あり、信号無視４３％、遮断踏切立入２６％、安全運転義務違反１３％の順に多い。また、危険行為で２度検挙されると自転車運転者講習を受講することとなるが、全国で受講は２４件あり、２０代男性の受講が最も多い。受講の原因となった違反行為は、制動装置不良自転車運転（ブレーキを自転車から取り外しているもの）が２６件で約半数を占める。受講者からは、交通ルール遵守の重要性や事故の危険性を認識した、との感想が聞かれ、安全運転意識の向上に一定の効果があったものと受け止められる。

次に、「１００km/hを超える規制速度の試行区間の選定等」について解説がありました。道路の構造、また気候による悪条件が発生しにくく、高速隊員による監視も容易な２カ所を選定し、道路管理者（国交省）との連携で、最高速度を当面１１０km/hに引き上げることを検討中である。

次に、「交通事故統計」について解説がありました。９月中の事故死者数は、３０９人で前年比３０人の減、年間では２７５８人で同１４６人の減であった。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、有意義な会合となりました。

★ 資料代 ５００円
次回、１１月２９日（火）の交通部会（衆１）に

出・欠 （いずれかに○印）

事務局宛 F A X 03-3507-8587

御芳名 _____

貴方様の F A X _____ 電話 _____

テロ対策への警備から、非会員で参加希望の方は、必ず、
前日までに事務局へ御連絡下さい。